

令和4年度2次補正 後 予算フレーム

【歳出・歳入の状況】

(単位：億円)

	4年度予算 (当初)	4年度予算 (2次補正後)	4年度予算 当初→2次補正後	備 考
(歳 出)				
一 般 歳 出	673,746	976,345	302,599	○ 2次補正概算決定時における新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策予備費 残額(2次補正後)：50,011億円
地方交付税交付金等	158,825	175,134	16,308	○ 2次補正概算決定時におけるウクライナ情勢 経済緊急対応予備費(2次補正後)：10,000億円
国 債 費	243,393	240,717	△ 2,676	
うち債務償還費(交付国債分を除く)	156,325	163,231	6,906	
うち利払費	82,472	72,880	△ 9,593	
計	1,075,964	1,392,196	316,231	
(歳 入)				
税 収	652,350	683,590	31,240	○ 公債依存度：44.9%
そ の 他 収 入	54,354	83,817	29,462	○ 建設公債 令4当初：6.3兆円 → 令4②補正後：8.7兆円 特例公債 令4当初：30.7兆円 → 令4②補正後：53.8兆円
公債金(歳出と税収等との差額)	369,260	624,789	255,529	○ 2次補正後の財政収支赤字(利払費相当分と 政策的支出による赤字相当分の公債金の合計) は46.2兆円。
債務償還費相当分(交付国債分を除く)	156,325	163,231	6,906	
利払費相当分	82,472	72,880	△ 9,593	
政策的支出による赤字相当分(基礎的財政収支赤字)	130,462	388,678	258,216	
計	1,075,964	1,392,196	316,231	

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。

(注2) 税収には印紙収入を含む。

(注3) 公債金の分類は基礎的財政収支や財政収支の観点から行ったものであり、公債金による収入が直ちに債務償還費や利払費に充当されることを意味するものではないことから、「相当分」としている。